

えりいつ

誰ひとり
置き去りにしない村づくり
あなたの声が私の原動力

今、やめるわけにはいかない

「東海村の美しい里山を守りたい」と思った平凡な主婦の私が、議員になりました。12年前のことです。この間、皆さまからご意見やご指導をいただき、議員としての学びや経験を重ね、多くの課題に取り組んできました。そして今も、超高齢化・子育て・環境・地域産業・格差等々の課題に直面しています。

中でも原発再稼働問題は、民意が分かれるところです。だからこそ、議員は広く住民の声を集め、民意がどこにあるのかしっかりと受け止めた上で、議論を重ね判断すべきと考えます。

行動!
市民派

ところが、令和2年1月19日の議員選挙において、議員定数が20名から18名に減ります。前回の選挙では、原子力に関係する団体出身の数名が上位で当選しています。この状況で2名減らすことは、多様な住民の声をバランスよく議会に反映することが難しくなると考え、私は定数削減に反対しました。また、住民への十分な説明もないままに議員報酬を増額することにも反対しました。



東海村議会・本会議場にて

しかし多数決で定数2名削減、報酬増が決定しました。

今の議会は、議論を十分に尽くすことなく数の力（会派の力）で物事が決まっていく傾向にあります。私は、無力感そしてむなしさを感じ3期で引退と考えたことも正直ありました。しかし、課題が山積している今こそ「誰もが大切にされる村づくりのために、平穏な生活を守るために、ここでへこたれていくわけにはいかない!」と、再び立ち上がることを決意いたしました。

東海村議会議員 ^{えり} 恵利 いつ



原子力問題 みんなで考えましょう

東海第二原発の再稼働には反対です

山田村長と刈羽村品田村長との原子力業界誌（10／5号）対談の反響が、新聞やTVニュースで取り上げられています。

記事を読んだ住民からは、「村長が原発容認だと初めて知り驚いている」「これまでの中立的な発言とは違う。信頼が崩れた」との声が聴かれます。原発に対する考え方は人それぞれであっても、東海第二原発の再稼働については、**村長は村民の命を守る使命がある**ことを肝に銘じ判断してほしいです。

そして私たち住民は、再稼働問題を他人任せにせず、今こそ一人一人が自分の事としてしっかり考えることが大切であると感じています。ご意見をお寄せください。

えりいつ

は、女性の感性と
生活者目線で提言します!



◆ 多様な子育てに対応する 支援体制と教育環境の充実

- * 保育の質を落とさない待機児童の解消を目指す
- * 自営業や非正規、就活中を含む専業主婦など育児休暇制度を利用できない家庭にも支援を充実。誰もが安心して子供を産み育てられる環境整備
- * 個性を尊重し「みんなちがって、みんないいんだよ」と、お互いの個性を認め合う寛容な心を育む教育

◆ 地域で心豊かに過ごせる老後のために

- * 高齢者から子供、子育て世代、誰もが気楽に集える場、歩いて行けるところに集える場をつくる
- * 高齢者のニーズに合った移動手段やサービスの提供・支援方法を検討
- * 定年後の人生を孤独にしない支援。1日に1回は他人と会話する仕組みづくり
- * 誰もが集える「みんなの食堂」づくりを支援し、地域のつながりと見守りをはかる



◆ 安心して住み続けられる東海村をつくるために

- * 住民のいのちと財産そして平穏な生活を守る点、また核のゴミを出し続ける点からも東海第二原発の再稼働に反対
- * 若い世代に魅力あるまちとするために、積極的に若者の意見に耳を傾け、若い議員候補の育成を目指す
- * 貴重な緑地の保全保護活動を推進
- * 生きづらさを感じている人への応援
- * 良好な住環境を守るため、無秩序なソーラーパネル設置や構造物を規制するルール作り
- * 「今ある建物を賢く使う」という公共施設のあり方を検討



あなたの声が私の原動力!

■ 村議会は、住民の皆さまの声に耳を傾け、福祉や幸せの向上のための様々な政策を決めるところであり、日常生活に密着した政治の最前線です。私が議員1期目を目指し村内を歩いていた時、ある方から「住民の話をまず聴くことです」と言われました。村の議員はもとより、行政に携わる誰もが心に留めおく言葉であると、最近改めて考えます。



■ 「執行機関と一步離れて、二歩離れず」
村長も議会議員も、ともに直接選挙で選ばれ対等な関係です。議会は、行政(村長)をチェックする立場です。ですから村長と議会の間には一定の緊張感が必要であり、行政の追認機関であってはなりません。また、議員は行政の施策を高める提言をすることや、皆さまのお声を行政につなぐことも大切な仕事です。

えりいつ は、みんなの声を議会に届けます

えりいつ 12年間の議会活動の 主な成果

病児病後児保育施設「るびなす」



◆病児病後児保育施設

2019年5月オープン。6、7年前から訴え、3期目の公約でした。核家族や共働き家庭の大きな支援、安心につながったと思います。

◆高齢者ドライバーの免許証の自主返納支援

高齢者や民生委員の方などから自主返納支援について声が届きました。しかし行政ではノープランでした。議会質問で支援の必要性を訴えた結果、制度ができました。次は新たな交通手段やサービスのあり方に取り組みます。

◆不妊治療の助成金

地域を回っている時に、ある女性から不妊治療について切実に訴えられました。私の気が付かないことでした。

◆奨学金枠の拡充

東海村独自の奨学金制度。奨学金枠の拡大に加え、入学準備金も設けられました。



天神山清掃でのゴミ

◆自主的ボランティア活動のごみ処分

里山整備の天神山清掃では約4ヶ月間で250袋のゴミと大量のガレキが出ました。そのゴミの処分に困ったことがきっかけ。環境整備ボランティア活動のごみ処分について、行政が回収するように改善されました。



◆原電通り白方小前信号待ち待避スペース

子どもの安全を見守る男性の声が議会質問のきっかけです。行政はガードレールで対応との返答。訴え続けたことで、小さなスペースを確保しました。とても役に立っています。



信号待ちする白方小の子どもたち
後方が待避スペースになります



手前が待避スペースです
安全に信号待ちができるようになりました

◆五反田線延伸計画中止

当初予算約30億円の高架橋道路計画を景観保護と予算の無駄遣いを訴え中止に。数年かかりましたが粘り強く訴えました。この風景を守りたいと考え、議員になりました。

五反田線中止により守られた
細浦の景観



交流館建設計画の見直しを求めて

今後もしっかり検証を!

(仮) 歴史と未来の交流館建設計画中止を求め、**住民有志の皆さまと共に取り組みました。**

平成25年頃に示されていた建設予定費は**12億円**、平成30年6月に**16億円**、平成31年3月には建設関連事業費として**18億円超**に膨れ上がりました。この間、多くの住民から建設を疑問視する声が寄せられました。しかし、議会の賛成多数で予算が認められました。

今後も交流館を含め公共施設のあり方をしっかり検証していきます。



建設予定地前で住民の皆さんと訴えました。歩行者から激励を受けました。

事業の進展に危機感を感じた住民のみなさんと共に署名活動。

集まった2,175名分の署名は2018年11月5日に住民代表が山田村長に届けました。署名の数はその後も増えました。



村長に署名を届けました



建設予定地・伐採前(2017.4)



建設予定地・現在(2018.11)

署名を届けた数日後には、予定地の樹木伐採が始まりました。その日の夜中、動物や鳥たちの悲痛な鳴き声と気配に目が覚めたと近所の方に伺いました。大移動があったようです。

更に今、その動物たちが移動した雑木林に、16ヘクタールに及ぶ広大なソーラーパネルの設置計画が進められています。自然のみどりを守ることを訴え、保全活動をしてきたのに……残念でなりません。

えりいつ は、東海村の未来のために、前進し続けます!

ある大学生のレポート

NPO法人ドットジェイピーへ提出したレポートより(原文)

恵利議員は東海村を良くしたいという想い、一心で議員活動をしていると思った。地域の人たちと積極的に関わり、地域住民の家を訪問したり、会ったら必ず挨拶し、様々な人と関わっており、地域の人達は、議員に会うと、必ず笑顔になっていると思った。「恵利議員は、本当にいい議員」この言葉を何回聞いたか分からない。それくらい地域の人々に尊敬されているということだと考えた。また、議員活動以外にも様々なボランティアに参加しており、東海村にとって自分ができることを最大限にしていると思った。このことから、私も人のために何かできる人になりたいと思った。自分と違う意見の人も受け入れ、物事をより良くするために、考えられる人になりたいと思った。私はこれまで、自分の得になる事しか考えてこなかった。これからは、自分第一になるのではなく、議員のように、人のために何かできる人間になりたい。

茨城キリスト大学 19歳女性

※NPO法人ドットジェイピー:大学生が主体のNPO法人。
議員や大使館員と行動を共にし、リアルな活動に触れ、社会勉強の場を提唱している。

活動記録

市川房枝記念会 女性と政治センター講座受講



脱原発1日セミナー
パネラーとして発表しました

「イマジンカフェ」 ～カフェで語ろうまちづくり～

住民ボランティアで運営しています。さまざまなテーマで隔月開催。
2019年11月のカフェで23回目を迎えました。



日本自治創造学会会員



全国から集まる参加者で会場は満席に

自然のみどりを守る会と 里山の会

自然環境を子どもたちに残していくため、不法投棄のゴミ回収や下草刈りなど里山保全活動を行っています。



多摩住民自治研究所講座受講



基本から実践までまるごと学べます

精神保健福祉ボランティア 東海ぴあ♡

ボランティア東海ぴあ♡を通して古着やシャツ、タオルを届けるなどの支援をしています。



どの講座も政党や会派にとらわれない、議員の学びの場です。私の議員活動にとっても役立っています。

恵利いつ プロフィール

●議員活動のいろいろ

- ・ひたちなか・東海広域事務組合監査委員
- ・東海第二原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟監事(超党派議員)
- ・日本自治創造学会会員
- ・自治体問題研究所講座受講生
- ・多摩住民自治研究所講座受講生
- ・市川房枝記念会女性と政治センター講座受講生

●東海村における主な活動履歴

- ・高度科学研究文化都市構想策定委員
- ・社会教育委員会委員
- ・女性がつくる都市づくり策定委員
- ・第4次総合計画後期基本計画策定委員
- ・原子力安全懇談会委員
- ・ハーモニー東海4期生
- ・行政との協働 道づくり塾
- ・小学校、中学校PTA役員

●地域ボランティア活動

- ・自然のみどりを守る会副会長
- ・里山の会
- ・精神保健福祉ボランティア東海ぴあ♡
- ・リスクコミュニケーション しーきゅうぶ東海村
- ・カフェで語ろうまちづくり イマジンカフェ代表

誰ひとり置き去りにしない村づくり
あなたの声が私の原動力

討議資料



ピンクリボンは乳がん啓発運動のシンボルイメージです

えりいつ

東海村議会議員 えりいつ 〒319-1112 東海村村松1263-17

tel/fax 029-284-0734 <https://eri-itu.com>

後援会事務所：東海村駅東1-15-22 (東海文化センター正面向かい側)

